

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (24) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 6 月 14 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 20 金土日時代のモデル - 癒やし(使 13:1-12)	△ART と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 20 重職者が準備する未来(マタ 27:25)	△核心/ 世界重職者大会 7 答えのためのやぐら、旅程、道しるべ(使 19:1-21)
□序論_癒やし以前 1. 根源的なことを先に癒やし 1) 私たちの以前のこと 2) 現実 3) 私たちの以降にある多くのこと 2. 祈り癒やし 1) やぐら 私たちに神様のやぐらが作られるべき 2) 旅程 祈りで旅程を行くことができて 3) 道しるべを建てることができる。 3. 生活癒やし 1) 霊的サミット祈りの力をいつも味わっていれば 2) 技能サミット 3) 文化サミットになる。 △癒やし以前の癒やしは教会で、福音を持って、この価値を知っている人にだけ可能だ。一言で根源的な力がなければならない。 □本論_実際の癒やし 1. 霊的癒やし 1) 永遠前の問題(12 戦略) サタンが 12 戦略で永遠前から問題を起こした。 2) 残ったこと 救われたのに私たちに残ったことがとても多い。 △教会は困難にあえば、ほとんどすべての重職者は福音がなくなってしまう。信徒が困難を受けるときは、しきりにここにひっかかる。皆さんが病気になるれば悩みに捕われてここにしきりにひっかかるのだ。そのまま死ぬ覚悟して恐れずに霊的戦いを始めれば良い。 3) 変えること(刻印-根-体質) 刻印、根、体質を変えれば驚くべき働きが起くる。 2. 病氣癒やし 1) 祈り癒やしの奥義(Ⅱ コリ 12:1-10) 病気になる人は、病気を忘れるほど祈りの中に入るのだ。 2) みことば癒やしの奥義(ハガ 2:1-9) このみことばは天と地と海と陸と国々を揺り動かすと言われた。確実なみことばを握って祈りの中に深く入って力を受けるようにさせなければならない。 3) 証拠の奥義(使 1:8) ただ聖霊があなたがたの上に臨めば証人になると言われた。証人は、証拠を持ったということだ。 3. 未来癒やし 金曜日はフォーラムもして本当に話さない。特別な患者がいれば夜中祈る。金曜日に信徒 1 人 1 人に関心を持って呼んでフォーラムしなさい。以前にすること、今すべきことがある。 1) 不安(問題-答え) なぜ不安なのか、確実な答えを与えなければならない。問題が何か、答えが何かをみことばから見つければ、それよりさらに力になることはない。みことばが確実ならば成就される。 2) ネフィリム癒やしをしなければならない。 3) 精神(心、考え) 心と考えが病んでいと精神が難しくなるしかない。 □結論_だれでも 福音を持っている人は、だれでもすることができる。また、この癒やしはすべての人に該当する。	「重職者が準備する未来」はレムナントだ。 □序論 1. わざわい 1) 大人たちの間違い 2) 国家も問題 3) 宗教指導者が問題 2. 傷-誤解-次世代は家でも、学校に行っても、教会に行っても傷を受ける。ほとんど誤解をたくさんした状態であるために、教会で金土日時代で助けなければならない。 3. 荒廃-祈り-レムナントは霊的状態が荒廃している。レムナントが祈ることができるなら、すべてが解決されるが、実際に祈ることができない。土曜日にこれを助けなければならない。 □本論 1. マタ 27:25 -この血の値を次世代にということは、私たちがすることが正しいという意味もあるが、次世代に問題が行くということを前提にしたこと、それゆえ、2 千年間(AD70 から 1948 年まで)ユダヤ人が国がなくなりさ迷った。 2. ルカ 23:28-イエス様が十字架を負って行かれるとき、「わたしのために泣かずに、あなたがたの子どものために泣きなさい」と言われた。 3. ヨハ 21:15-18 神様のみことばが成就されることだけが答えだ。イエス様が「子羊を飼いなさい」と言われた。 4. 会堂-これに分かるパウロの本当の目標は会堂だった。そこでキリストと礼拝、祈りの答えが何か教えた。 5. ローマは全世界の次世代が集まっている。私たちがアメリカに RU 目標を置く理由だ。 □結論_新しい確立 レムナントが外に出て行く前に、新しい確立をしなければならない。それゆえ、金土日は最高に重要なチャンスだ。そこで真剣なフォーラムをしなければならない。証しも重要だが、それよりみことばフォーラムをしなければならない。 △散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 20 重職者の散らされた弟子たち(ロマ 16:17-20) ※散らされた者(私たちの目が向かなければならない所)-宣教師、外に出て行ったレムナント、困難にあっている人、237-5000 種族に敷かれている人々 1. イザ 6:13 レムナントを送りなさい、育てなさい。 2. 使 11:19 迫害を受ける者、散らされた者、困難にあっている人を探しなさい。そこには必ず計画がある。大きな困難の中での出会いがアンティオキア教会になり、ここで宣教師派遣、パウロとロマ 16 章の答えの人物が起きた。 3. ロマ 16:1-27 目標-皆さんは支援者、同労者、家主、持っているものがなくても労苦する者、同胞(親戚)、近くでとても愛する者だ。彼らに世々にわたって隠されていたこと、とこしえまであることを、今約束された。	皆さんは 7 答えのためのやぐら、旅程、道しるべに行かなければならない。 □序論_今起きている答え Ⅰサム 7:1-15、Ⅱ列 6:8-24 ミツパ運動(ミツパに集まって契約確認)、ドタンの町運動が起きる祝福、主日礼拝はマルコの屋上の部屋で起きた働きが始まる日 御座、神の国、神の国のこと-このとき、御座のやぐら、旅程、道しるべが成り立って、契約を握るとき、神の国と神の国のことが成り立っているのだ。 □本論 1. 毎日味わう重職者マニュアル 1) サミット集中時間(朝、力) -プラットフォームになる。 2) サミット目標(300%) -他の人を生かす見張り台となる。 3) サミット答え(5 流れ祈りの中で確認) -神様、人と通じるアンテナとなる。 4) サミット身分(見張り人、7・7・7 毎日味わいなさい) -時空超越 5) サミット権威(記念碑を建てること) -空前絶後 6) サミット伝道(答えを与えること) -地域を生かす。 7) サミット宣教(3 キャンプ-聖霊導き、聖霊働き、聖霊実) -一つの国を生かすようになる。 △これを毎日祈れば霊とからだがみな生かされる。 2. ことがあるとき、重職者の背景であるやぐら、旅程、道しるべを味わわなければならない。 1) 使 13:1-4 聖霊の導きを受けなければならない。人、場所、ことを確実にする時まで動いてはならない。 2) 使 13:5-11 聖霊の働きの基準はネフィリムが縛られることだ。 3) 使 13:12 システムと未来が作られる。 3. 未来準備 1) のがしたこと-三つの庭 2) 捨てられたこと(次世代)-金土日時代 3) わざわい(祈つことを知らない人々) -黙想時代を開かなければならない。 □結論_始まり 1. 病んだ者に会いなさい。 2. 新しい家族に会いなさい。 3. 多民族(RT)に会いなさい。 「今日はだれを会おうか」毎週考えてみれば教会全体に関心を持つようになる。 4. 家族にすること-一生 1 人でも良い。重要なことをひとりがしても神様は働かれる。 5. 24 チーム(ロマ 16 章の答え) - 24、25、永遠チームが構成される。皆さんが 5 つをほんとうにしていれば作られる。 △今回はこの 5 つを持って行きなさい。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (24) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 6 月 15 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 24 週/2 部：私とレムナントに刻印させること キリスト 24・25・永遠(ヘブ 13:8)	△聖日 1 部 その日以来 (I サム 3:19)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 エジプト偶像を癒やす神殿 (出 3:18-20)
△<u>朝</u>には<u>力</u>を受ける祈り、<u>昼</u>には<u>答え確認</u>、<u>夜</u>にはみことばで<u>答え</u>を出す祈り。<u>主日</u>にはみことばと祈り、伝道の<u>流れ</u>を見て<u>集中祈り</u> □序論_キリストーキリストが与えられたこと 1. 逃しやすいこと 1) ユダヤ人-神様が一番最初にユダヤの国に福音を与えられたが逃した。 2) 使 11:1-18 ペテロと初代教会も福音を逃した 3) 中世教会(ヨハ 2:1-11)ーイエスが水をぶどう酒にされた事件。イエスに話した人がマリアなのでマリアの名で祈る。それゆえ、中世教会は減びた 4) 237 大きい国に行けば博物館があるが、絵がマリアをみな高める。 5) 5000ーみなネフィリムに陥っている。凄じいほど暗闇に陥っている。 2. 答えーキリストで答えが出た人にはどんなことが起こるのか 1) ヨハ 19:30 完了した。ほかのものは必要ない。 2) マタ 17:1-9 エリヤも、モーセも必要なくて、イエスだけが残った 3) マタ 16:13-20 「あなたは生ける神の子キリストです」岩の上に教会をわたしが建てる。よみの門があなたに勝つことができない。天国の鍵を与えます。 3. ロマ 16 章の人々 1) 3 集中-ただ時間を定めて 2) 3 セットイング作られるしかない 3) 3 答え-行く所に答え、更新、機会が出てくる。 □本論_キリストが与えられたこと 1. 身分 1) ヨハ 1:11、12 この光を受け入れた人々、その名を信じた人々には神の子どもとなる特権を 2) マタ 5:13-16 私たちは世の光、この光をつければ行く所に暗闇が崩れる。 3) I ペテ 2:9 王のような祭司。この光を現わすために呼んだ。 2. 權威 1) 使 3:1-12 イエス・キリストの御名で祈ることができる權威を 2) 使 4:12 天下に救われるほかの名は与えられていない。 3) 使 8:4-8 サマリアに行ってキリストを説明した。 4) 使 16:16-18 悪霊につかれた占い、悪霊につかれた人々にパウロがナザレのイエス・キリストの御名で命令した。これが權威だ。 5) ピリ 3:21 万物を服従させるナザレのイエス・キリストの御名で祈りなさい。 3. 生活 1) 24 味わい 2) 25 待つこと 3) 永遠 挑戦 □結論_5 時刻表(永遠の前、受肉、復活、再臨、さばきの主として来られるキリスト) <u>やぐら、旅程、道しるべ</u>ーキリストが私たちのやぐらだ。40 日間神の国のことが旅程だ。エルサレム、サマリア、地の果てまでが道しるべだ。	□序論_不治の病、うつ病、難しい環境 1. このようなとき、誤った祈りをしたり、答えではないことを答えだと思える 1) 衣食住が答えだと考えたアブラハムー創 12:1-3 が真の答え 2) 飢えて死なないで行くことを答えと考えた荒野に行く人々ー神様が準備された幕屋、契約の箱、三つの祭りが真の答え 3) ペリシテに勝つことを答えだと考えたー力を蓄えてペリシテ福音化することが真の答え 2. 答えを受ける道-神様の神殿、神様のやぐらがサムエルに先に臨んだ(I サム 3:19) 1) 私の中に主のやぐらを先に建てなさい。 2) 主の神殿になるようにしなさい。 3) 神様のみことばが臨むようにしなさい。神様の聖霊が働くように待ちなさい。 □本論 1. 主のやぐらと神殿が建つてみことばが臨んだサムエル(I コリ 3:16)ー天命 1) 契約の箱のそばに横になったサムエル 2) 神様の御声を聞いたサムエルー天命が臨んだ 3) その日以降、サムエルのことばを主は地に落とされなかった。 2. 主のやぐらと神殿を持っているサムエルの祈りは一言も地に落とされない(I サム 3:19)ー召命 1) 主のやぐらと神殿を持っているサムエルの祈りは靈的戦いになる。 (1) ペリシテが攻め込んで契約の箱を奪って行ったとき、サムエルの祈り (2) 契約の箱が到着したところごとに臨んだわざわいーアシュデとダゴン神殿、ガテ、エクロン (3) 戻って来た契約の箱 2) 主のやぐらが建った人、神殿になった人の祈りー暗闇を打ち倒し、ほかのところに影響を与える。 (1) この岩の上にわたしの教会をわたしが直接建てます(マタ 16:18) (2) よみの門があなたに打ち勝てない(マタ 16:18)ーやぐらが変わったため (3) 天国の鍵をあなたにあげます(マタ 16:19) 3) 召命ーあなたを主のみことばが臨む神殿、主のやぐらとして建てる(祈りで勝利したサムエル) 3. ミツバ運動-主の神殿、やぐらが作られた者の使命 1) すべての偶像を捨てて祭壇の前に出て来なさい。 2) ペリシテをあらかじめ倒された神様 3) 戦わずに勝つ靈的な力ーサムエルが生きている間ペリシテ(暗闇)が攻め込むことができなかった。 △この力を養いなさい。親が靈的な力を持って祈るときに起こったことーヤコブとヨセフ、ヨケベデとモーセ □結論 1. マタ 4:19 2. マタ 11:28 3. マコ 3:13-15 4. マタ 28:18、20 5. マコ 16:19-20 6. 使 1:3 ※根源的な力を養いなさいー私に家系、世の中、現場を生かすやぐらが与えられて、確実な契約と神殿が臨みますように。	なぜ神殿建築を話すのか確実な理由を悟らなければならない。イスラエルが奴隷として死ぬことになったとき、血のいけにえをささげに行きなさいと言われた。暗闇を打ち倒す解決策だ。 □序論_暗闇<u>偶像神殿</u> 1. 先進国現場 1) ネフィリム文化ー暗闇神殿を作るのにイスラエルが仕えている。 2) ネフィリム企業-300%握って出て行かなければならない。神様が私に完全なこと準備、現場も準備しておかれた。未来まで準備しておかれた。 3) ネフィリム次世代を作っている。 2. 中進国-偶像(家、路店) 3. 後進国 △この暗闇に陥った者を癒やすことが私たちの使命だ。 □本論_最後重要な体験ー<u>24 祈りの人</u>(祈りの中に入っている人) <u>25 答えの人</u>、<u>永遠 記念碑を残す人</u> 1. 出 3:18 の神殿を作りなさい。イスラエルー先に光が現れるべき 1) 出 2:1-10 (王宮の光)ーモーセを送られた。 2) 出 3:1-10 完全に奴隷になったイスラエル 3) 出 3:18 80 歳(光)ーモーセが 80 歳のときに、モーセを指名された神様 血のいけにえー<u>わざわい</u>、<u>サタン</u>、<u>地獄</u>の背景を完全に贖う力 2. 出 5:1-12:46 出エジプトする神殿を作りなさい。エジプトー光を放ちなさい。 1) 10 わざわいーエジプト偶像を打ち倒して光を照らした事件 2) ファラオー最後まで悟ることができない。 3) 血を塗る過越祭で完全に降参ーサタンはこれにだけ降参する。 △完全に終わった。なぜ困難が来るのか。重要な理由がある。 3. 荒野に勝つ光ー荒野に光を照らさなければならない。これがカナンの地に伝えられる。 1) 三つの祭りの証拠を見る幕屋 2) 契約の箱がある幕屋 3) 荒野の契約の幕屋 <u>5 つ</u>ーすべての問題の始まりと解答である創世記、暗闇から抜け出す出エジプト記、礼拝が何か正しく悟るレビ記、イスラエル民族とカナンの地を確かに配分される民数記、今までであった働きを次世代に刻印、根、体質とさせる申命記 △苦難を受けることにも祝福の理由がある。 □結論 1. イエス様の最後の現場メッセージ(ヨハ 2:12-25)ー<u>三つの庭</u>がある神殿 2. イエス様の最後の講壇(使 1:3)ー40 日間神の国のことを語られた。<u>金土日</u>時代を開きなさい。 3. イエス様が残された最後の弟子(使 19:8)ー隠されたことを見つけ出す<u>黙想</u>時代、黙想は神の国が成り立つこと